

## 環境に関するアンケート

このたび、環境省では「干潟の自然再生の価値」に関して、その価値を評価するためのアンケート調査を実施することとしました。

なお、アンケートの御回答はすべて統計処理し、個々の調査結果に関しては、一切公表することはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。ご多用のところ誠に恐れ入りますが、本アンケート調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。本調査は、環境省より業務を受託した、公益財団法人日本生態系協会が実施いたします。

また、当アンケートでは **あなたの世帯年収** についてお伺いする箇所が含まれております。本件趣旨にご同意くださる方は、ご回答をお願いいたします。

回答をしたくないと判断された場合はお手数ですが、「回答をやめる」ボタン、あるいはブラウザを閉じて、アンケートを終了してください。

お忙しいところ恐れ入りますが、下記アンケートにご協力をお願いいたします。

### 当アンケートの回答者の皆様へお願い

マクロミルモニタの皆様にはモニタ規約にて「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう（掲示板やホームページへの書き込みを含む）、ご協力をお願いします。

#### **AC** 割付条件設定（回答者には表示されません）

1. グループ1
2. グループ2
3. グループ3
4. グループ4

まず環境問題全般についておたずねします。

#### **Q1** あなたが重要であるとする環境問題をすべてお答えください。（いくつでも） 【必須入力】

1. 地球温暖化
2. オゾン層破壊問題
3. 森林破壊
4. 生物多様性の減少
5. 酸性雨問題
6. 大気汚染
7. 水質汚染
8. 砂漠化

- 9. 廃棄物問題(ゴミ問題)
- 10. 放射能問題
- 11. その他
  
- 12. 重要であると考える環境問題はない



**Q2** あなたは以下の言葉についてご存知ですか。(それぞれの単語ごとにひとつだけお選びください)  
**【 必須入力 】**

	1 内容を知っている	2 内容は知らないが聞いたことはある	3 聞いたことはない
1. 生物多様性条約	→		
2. ラムサール条約(正式名称:特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)	→		
3. 愛知目標	→		
4. 生態系	→		
5. 生物多様性	→		
6. 絶滅危惧種	→		



**Q3** あなたは海にどれくらいの頻度で訪れていますか。  
 以下のうち、一番近いものを1つお選びください。(一つだけお選びください)  
**【 必須入力 】**

- 1. ほぼ毎日訪れる
- 2. 週に1~2回程度訪れる
- 3. 月に1~2回程度訪れる
- 4. 半年に1回程度訪れる
- 5. 年に1回程度訪れる

6. 数年1回程度訪れる
7. それ以下の頻度で訪れる
8. 訪れたことはない



ここで改ページ

次に干潟についておたずねします。

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼



※干潟は、海岸において、砂や泥などで形成されている平らな土地です

Q4

「干潟」とは、潮の満ち引きの影響で、時間によって海水面の下になったり陸地になったりを繰り返す、陸と海の境目にある場所のことです。あなたは、「干潟」がどのような場所のことを指すのか、ご存知でしたか。（一つだけお選びください）

【必須入力】

1. 干潟がどのような場所か知っていた
2. 干潟がどのような場所か知らないが言葉は聞いたことがある
3. 言葉も聞いたことがない



ここで改ページ

▼ 画像は一例です。 ▼



チゴガニ



ミナミトビハゼ



アサリ



ゴカイを引っ張るダイゼン（鳥）

**Q5** 干潟は、アサリやシジミなどの二枚貝をはじめ、カニやゴカイなど多様な海の生きものが生息している場所です。あなたは、海の生きものが暮らしていける場所として干潟を守ることについて重要だと思いますか。（一つだけお選びください）

【必須入力】

1 非常に重要だと思う	2 重要だと思う	3 どちらともいえない	4 あまり重要ではないと思う	5 全く重要ではないと思う
----------------	-------------	----------------	-------------------	------------------

.....  [ここで改ページ](#) .....

▼ 以下の画像をご覧ください。▼



**Q6** 干潟は、非常に水深が浅い場所となるため、大きな魚は入ってくることはできません。そのため、小さな魚や、子どもの魚(稚魚)にとって、暮らしやすい場所となっています。小さな魚や子どもの魚が暮らしやすい場所を守ることに、重要だと思いますか。(一つだけお選びください)  
【必須入力】

1 非常に重要だと思う	2 重要だと思う	3 どちらともいえない	4 あまり重要ではないと思う	5 全く重要ではないと思う
----------------	-------------	----------------	-------------------	------------------

..... ✂ ここ改ページ .....

▼ 以下は、干潟で採れる海の幸についての説明です。(画像は一例です。) ▼

干潟で採れる海の幸

子供のころを干潟の泥の中で過ごします。



クルマエビ



シャコ

干潟を産卵場所としています。



マハゼ



カレイ

干潟で暮らしています。

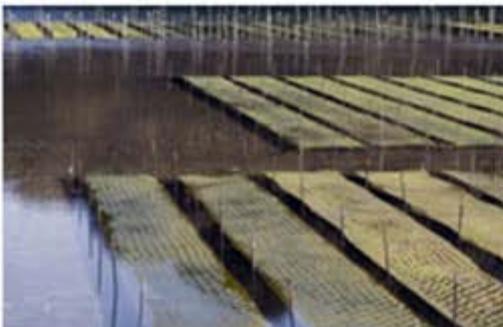


アサリ (の味噌汁)



ハマグリ

海苔は干潟で養殖されています。



海苔の養殖風景



海苔

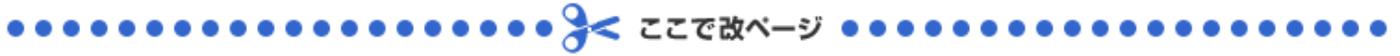
Q7

干潟は、多くの海の幸を提供してくれる場所です。

あなたは海の幸をもたらしてくれる場所を守ることに、重要だと思いますか。(一つだけお選びください)

【 必須入力 】

1 非常に重要だと思う	2 重要だと思う	3 どちらともいえない	4 あまり重要ではないと 思う	5 全く重要ではないと思 う
----------------	-------------	----------------	-----------------------	----------------------



▼ 画像は一例です。▼

	
カブトガニ	ムツゴロウ

**Q8** 干潟で暮らしている生きものの中には、カブトガニやムツゴロウなど絶滅の危機に瀕している生きものも少なくありません。

あなたは絶滅の危機に瀕している生きものを守ることにについて重要だと思いますか。(一つだけお選びください)

【 必須入力 】

1 非常に重要だと思う	2 重要だと思う	3 どちらともいえない	4 あまり重要ではないと 思う	5 全く重要ではないと思 う
----------------	-------------	----------------	-----------------------	----------------------



▼ 画像は一例です。▼

	
オオソリハシシギ	メダイチドリ

**Q9** カモやシギ、チドリなどの、長い距離を旅する渡り鳥にとって干潟は、大切な休息場所です。渡り鳥以外の鳥にとっても、たくさんのエサがある干潟は、生きていくために必要な場所となっています。あなたは鳥たちが暮らしていける場所を守ることについて重要だと思いますか。(一つだけお選びください)  
【必須入力】

1 非常に重要だと思う	2 重要だと思う	3 どちらともいえない	4 あまり重要ではないと思う	5 全く重要ではないと思う
----------------	-------------	----------------	-------------------	------------------

 [ここで改ページ](#)

**Q10** 干潟は、下水などの汚れた水が流れ込んでも、きれいにする力を持っています。あなたは海の水をきれいにする場所を守ることが重要であると思いますか。(一つだけお選びください)  
【必須入力】

1 非常に重要だと思う	2 重要だと思う	3 どちらともいえない	4 あまり重要ではないと思う	5 全く重要ではないと思う
----------------	-------------	----------------	-------------------	------------------

 [ここで改ページ](#)

次に干潟の利用状況についておたずねします。

**Q11** あなたは、過去に干潟を訪れたことがありますか。(一つだけお選びください)  
【必須入力】

1. ある
2. ない
3. わからない

 [ここで改ページ](#)

**Q12** あなたは過去に、どのような目的で干潟を利用しましたか。いくつでもお答えください。(いくつでも)  
【必須入力】

1. 潮干狩り
2. 自然観察(バードウォッチング、海の生きもの観察など)
3. 釣り
4. 漁業
5. 環境教育
6. 散歩
7. ゴミ拾い・清掃活動
8. 干潟の保全活動(ヨシ刈りなど)
9. その他

 [ここで改ページ](#)

次に、干潟を守るための取り組みについておたずねします。

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼

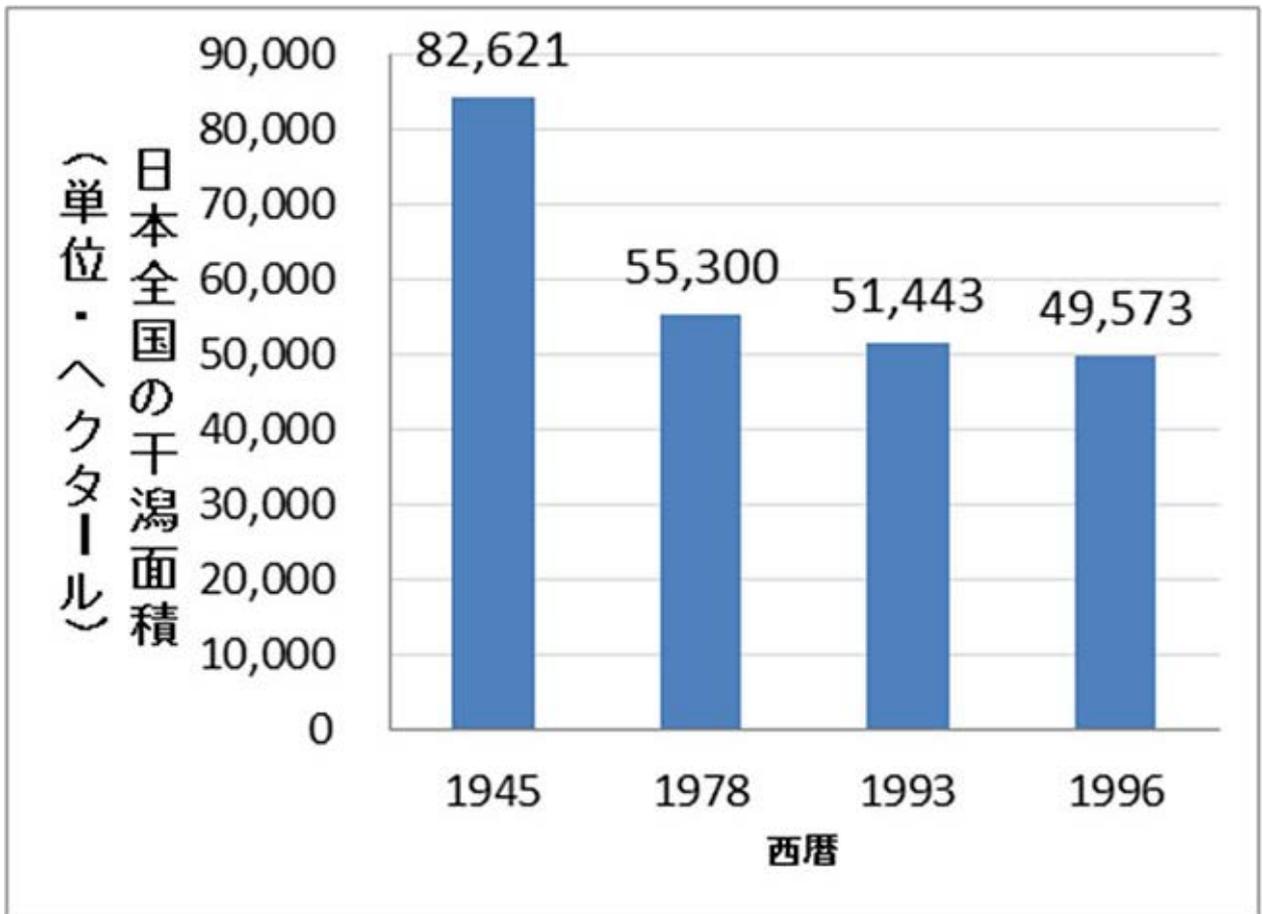


図 干潟の減少傾向

**Q13** 日本の干潟は、埋立や浚渫などの沿岸地域の開発により多くの面積が失われました。日本全国の干潟の面積は、1945年時点の約82,621ヘクタール（約826平方キロメートル：新潟県・佐渡島よりやや小さい程度）から1996年までに、約4割に当たる約33,000ヘクタール（約330平方キロメートル）が失われました。

あなたは、日本の残された干潟を守ることは重要だと思いますか。（一つだけお選びください）

【必須入力】

1 非常に重要だと思う	2 重要だと思う	3 どちらともいえない	4 あまり重要ではないと思う	5 全く重要ではないと思う
----------------	-------------	----------------	-------------------	------------------



**Q14** 2010年に愛知県名古屋市で生物多様性に関する国際会議が開催され、日本は議長国を務めました。この会議では、生物多様性に関する世界目標である「愛知目標」が採択されました。「愛知目標」の中には「2020年までに、劣化した生態系の15%以上を回復させる」という個別目標が含まれていません。

あなたは、過去に失われてしまった生態系を15%以上回復させる目標について、達成すべきだと思いますか。あなたのお考えに近いもの一つお選び下さい。（一つだけお選びください）

【必須入力】

1 必ず達成すべきだ	2 どちらかといえば達成した方が良い	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば達成に向けた努力は必要ない	5 達成に向けた努力は必要ない
---------------	-----------------------	----------------	----------------------------	--------------------

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼

<干潟再生の例①>

東日本大震災の被災地では、震災で水につかった干拓地をかつての干潟に再生する計画が進められています。(写真は岩手県・小友浦)



<干潟再生の例②>

三重県志摩市の英虞湾では、干潟の約7割が干拓により消失しましたが、現在では干拓地の8割が荒地地となっており、こうした荒地地を干潟に再生する取組を進めています。

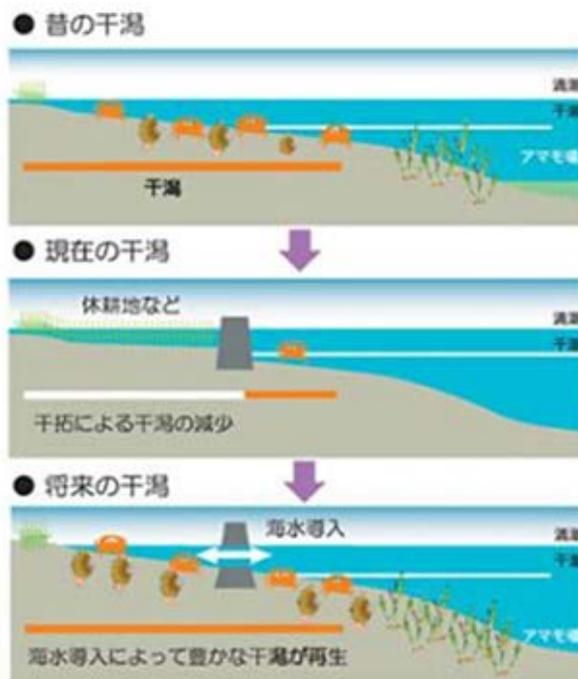


図 英虞湾の干潟再生のイメージ  
出典：三重県水産研究所

**Q15** 失われた干潟面積を回復させるためには、かつて干潟であった場所を再び干潟に戻すなどの、自然を再生する取り組みが必要です。

あなたは干潟の面積を増やすために、上記のような干潟の再生の取り組みを行うことが重要であると思いますか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

非常に重要だと思う	重要だと思う	どちらともいえない	あまり重要ではないと思う	全く重要ではないと思う
-----------	--------	-----------	--------------	-------------



**Q16** 干潟を再生するためにはお金がかかります。  
 あなたは、干潟を再生することに国や地方自治体が労力とお金をかけることについて賛成ですか、それとも反対ですか。(一つだけお選びください)  
**【必須入力】**

1 賛成である	2 どちらかといえば 賛成である	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば 反対である	5 反対である
------------	------------------------	----------------	------------------------	------------



ここからは仮の質問です。  
 2010年に愛知県名古屋市中で開催された生物多様性に関する国際会議において、  
 「2020年までに、劣化した生態系の15%以上を回復させる」という目標が掲げられました。

そこで、干潟を対象として、2014年から2020年までの間に、  
1978年から2010年までの約30年間に失われた干潟の面積の15%にあたる約1,400ヘクタール  
(14平方キロメートル: 東京都墨田区と同じくらい)を再生する取り組みを行う ために、  
 新たに「干潟再生基金」を設置して、皆さんから募金を集めることとします。  
 集めたお金は、日本国内の干潟の面積を増やす目的のためだけに活用されます。

具体的に再生を行う場所は決まっているわけではありません。  
 この基金には、毎年同じ金額を支払っていただくものとし、  
 支払は2014年から2020年までの7年間継続するものとします。  
 この支払いにより、あなたの世帯の自由に使えるお金が、  
 支払った分だけ少なくなることを想定してお考えください。

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼

### 干潟の特徴

- 多様な生きものが生息する環境
- たくさんの海の幸を生み出す場所
- 海の水をきれいにする場所



### 日本国内の干潟面積の減少状況

- 1945年以降、日本全体の干潟面積の約4割が消失。
- 1978年以降も9,000ヘクタール(90k㎡)以上の干潟が消失

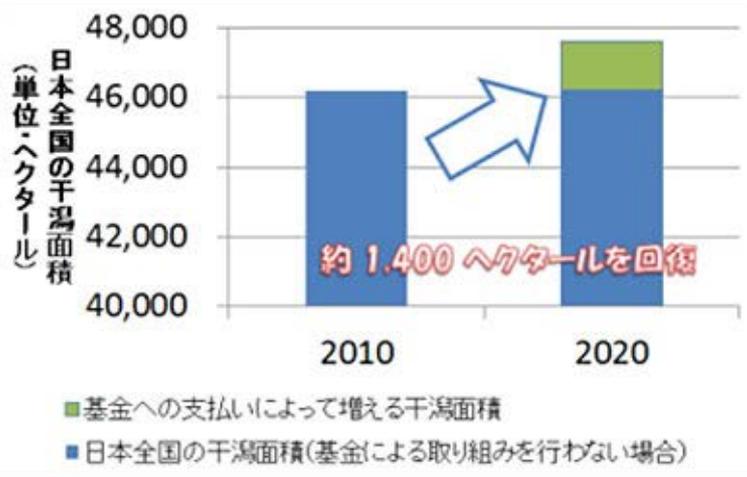
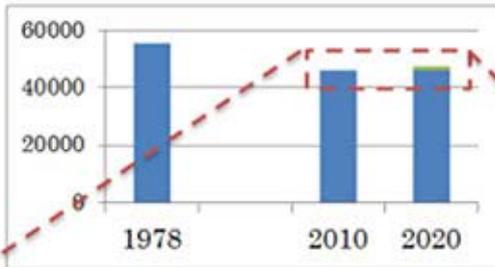


2010年に名古屋で開催された国際会議(生物多様性条約第10回締約国会議)で、**失われた自然(生態系)の15%を回復させることが世界の目標**となりました

そこで、1978年から2010年までに失われた干潟の約15%にあたる、**日本国内の干潟・約1,400ヘクタール(14k㎡:東京都墨田区と同じくらい)を、2014年から2020年までの7年間で回復させる取り組みを実施すると仮定します。**



東京都全体図



具体的には、使われなくなった干拓地を干潟に戻す取り組みなどを行います。

※再生を行う場所は特に決まっています。

※2010年以降の干潟の減少はゼロとなっていると仮定してお答えください。

Q17

あなたはこの干潟再生の取り組みにより、日本の干潟の環境が改善されると思いますか。あなたの印象に最も近いものをお選びください。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1  
かなり改善される

2  
少しは改善される

3  
あまり改善されない

4  
まったく改善されない



ここで改ページ

以下の資料は、前問と同じ内容となります。

ここからは仮の質問です。

2010年に愛知県名古屋市で開催された生物多様性に関する国際会議において、「2020年までに、劣化した生態系の15%以上を回復させる」という目標が掲げられました。

そこで、干潟を対象として、2014年から2020年までの間に、1978年から2010年までの約30年間に失われた干潟の面積の15%にあたる約1,400ヘクタール（14平方キロメートル：東京都墨田区と同じくらい）を再生する取り組みを行うために、新たに「干潟再生基金」を設置して、皆さんから募金を集めることとします。集めたお金は、日本国内の干潟の面積を増やす目的のためだけに活用されます。

具体的に再生を行う場所は決まっているわけではありません。

この基金には、毎年同じ金額を支払っていただくものとし、支払は2014年から2020年までの7年間継続するものとします。この支払いにより、あなたの世帯の自由に使えるお金が、支払った分だけ少なくなることを想定してお考えください。

---

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼

### 干潟の特徴

- ・多様な生きものが生息する環境
- ・たくさんの海の幸を生み出す場所
- ・海の水をきれいにする場所



### 日本国内の干潟面積の減少状況

- ・1945年以降、日本全体の干潟面積の約4割が消失。
- ・1978年以降も9,000ヘクタール(90k㎡)以上の干潟が消失

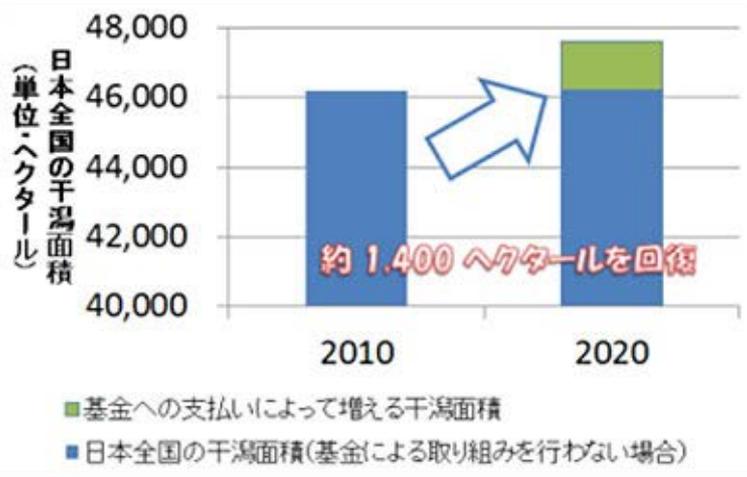
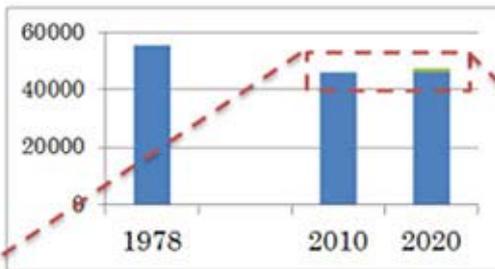


2010年に名古屋で開催された国際会議(生物多様性条約第10回締約国会議)で、**失われた自然(生態系)の15%を回復させることが世界の目標**となりました

そこで、1978年から2010年までに失われた干潟の約15%にあたる、**日本国内の干潟・約1,400ヘクタール(14k㎡：東京都墨田区と同じくらい)を、2014年から2020年までの7年間で回復させる取り組みを実施すると仮定します。**



東京都全体図



具体的には、使われなくなった干拓地を干潟に戻す取り組みなどを行います。

※再生を行う場所は特に決まっています。

※2010年以降の干潟の減少はゼロとなっていると仮定してお答えください。

Q18

日本国内の干潟を7年間で約1,400ヘクタール(14平方キロメートル)再生する取り組みを行うために、仮にあなたの世帯に年間500円を支払っていただく必要があるとします。あなたは、干潟を再生するために年間500円を支払ってもかまいませんか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1  
はい

2  
いいえ



ここで改ページ

Q19

前の質問で「はい」と回答した方にお伺いします。  
年間1,000円支払うとすれば、あなたは同意しますか。(一つだけお選びください)  
【必須入力】

1  
はい

2  
いいえ



ここで改ページ

Q20

前の質問で「いいえ」と回答した方にお伺いします。  
年間100円支払うとすれば、あなたは同意しますか。(一つだけお選びください)  
【必須入力】

1  
はい

2  
いいえ



ここで改ページ

以下の資料は、前問と同じ内容となります。

ここからは仮の質問です。

2010年に愛知県名古屋市中で開催された生物多様性に関する国際会議において、「2020年までに、劣化した生態系の15%以上を回復させる」という目標が掲げられました。

そこで、干潟を対象として、2014年から2020年までの間に、  
1978年から2010年までの約30年間に失われた干潟の面積の15%にあたる約1,400ヘクタール  
(14平方キロメートル: 東京都墨田区と同じくらい)を再生する取り組みを行う ために、  
新たに「干潟再生基金」を設置して、皆さんから募金を集めることとします。  
集めたお金は、日本国内の干潟の面積を増やす目的のためだけに活用されます。

具体的に再生を行う場所は決まっているわけではありません。  
この基金には、毎年同じ金額を支払っていただくものとし、  
支払は2014年から2020年までの7年間継続するものとします。  
この支払いにより、あなたの世帯の自由に使えるお金が、  
支払った分だけ少なくなることを想定してお考えください。

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼

### 干潟の特徴

- 多様な生きものが生息する環境
- たくさんの海の幸を生み出す場所
- 海の水をきれいにする場所



### 日本国内の干潟面積の減少状況

- 1945年以降、日本全体の干潟面積の約4割が消失。
- 1978年以降も9,000ヘクタール(90k㎡)以上の干潟が消失

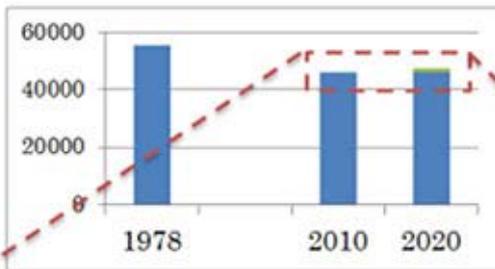


2010年に名古屋で開催された国際会議(生物多様性条約第10回締約国会議)で、**失われた自然(生態系)の15%を回復させることが世界の目標**となりました

そこで、1978年から2010年までに失われた干潟の約15%にあたる、**日本国内の干潟・約1,400ヘクタール(14k㎡:東京都墨田区と同じくらい)を、2014年から2020年までの7年間で回復させる取り組みを実施すると仮定します。**



東京都全体図



具体的には、使われなくなった干拓地を干潟に戻す取り組みなどを行います。

※再生を行う場所は特に決まっています。

※2010年以降の干潟の減少はゼロとなっていると仮定してお答えください。

Q21

日本国内の干潟を7年間で約1,400ヘクタール(14平方キロメートル)再生する取り組みを行うために、仮にあなたの世帯に年間1,000円を支払っていただく必要があるとします。あなたは、干潟を再生するために年間1,000円を支払ってもかまいませんか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1  
はい

2  
いいえ



ここで改ページ

Q22

前の質問で「はい」と回答した方にお伺いします。  
年間3,000円支払うとすれば、あなたは同意しますか。(一つだけお選びください)  
【必須入力】

1  
はい

2  
いいえ



ここで改ページ

Q23

前の質問で「いいえ」と回答した方にお伺いします。  
年間500円支払うとすれば、あなたは同意しますか。(一つだけお選びください)  
【必須入力】

1  
はい

2  
いいえ



ここで改ページ

以下の資料は、前問と同じ内容となります。

ここからは仮の質問です。

2010年に愛知県名古屋市中で開催された生物多様性に関する国際会議において、  
「2020年までに、劣化した生態系の15%以上を回復させる」という目標が掲げられました。

そこで、干潟を対象として、2014年から2020年までの間に、  
1978年から2010年までの約30年間に失われた干潟の面積の15%にあたる約1,400ヘクタール  
(14平方キロメートル:東京都墨田区と同じくらい)を再生する取り組みを行うために、  
新たに「干潟再生基金」を設置して、皆さんから募金を集めることとします。  
集めたお金は、日本国内の干潟の面積を増やす目的のためだけに活用されます。

具体的に再生を行う場所は決まっているわけではありません。  
この基金には、毎年同じ金額を支払っていただくものとし、  
支払は2014年から2020年までの7年間継続するものとします。  
この支払いにより、あなたの世帯の自由に使えるお金が、  
支払った分だけ少なくなることを想定してお考えください。

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼

### 干潟の特徴

- 多様な生きものが生息する環境
- たくさんの海の幸を生み出す場所
- 海の水をきれいにする場所



### 日本国内の干潟面積の減少状況

- 1945年以降、日本全体の干潟面積の約4割が消失。
- 1978年以降も9,000ヘクタール(90k㎡)以上の干潟が消失

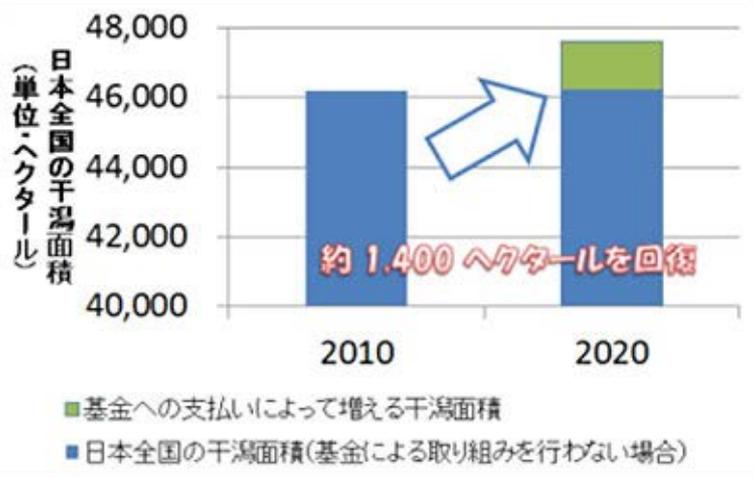
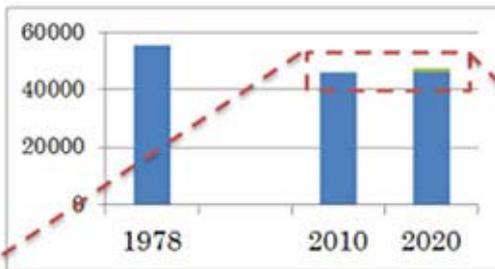


2010年に名古屋で開催された国際会議(生物多様性条約第10回締約国会議)で、**失われた自然(生態系)の15%を回復させることが世界の目標**となりました

そこで、1978年から2010年までに失われた干潟の約15%にあたる、**日本国内の干潟・約1,400ヘクタール(14k㎡:東京都墨田区と同じくらい)を、2014年から2020年までの7年間で回復させる取り組みを実施すると仮定します。**



東京都全体図



具体的には、使われなくなった干拓地を干潟に戻す取り組みなどを行います。

※再生を行う場所は特に決まっています。

※2010年以降の干潟の減少はゼロとなっていると仮定してお答えください。

Q24

日本国内の干潟を7年間で約1,400ヘクタール(14平方キロメートル)再生する取り組みを行うために、仮にあなたの世帯に年間 **3,000円**を支払っていただく必要があるとします。あなたは、干潟を再生するために年間 **3,000円**を支払ってもかまいませんか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1  
はい

2  
いいえ



ここで改ページ

Q25

前の質問で「はい」と回答した方にお伺いします。  
年間7,000円支払うとすれば、あなたは同意しますか。(一つだけお選びください)  
【必須入力】

1  
はい

2  
いいえ



ここで改ページ

Q26

前の質問で「いいえ」と回答した方にお伺いします。  
年間1,000円支払うとすれば、あなたは同意しますか。(一つだけお選びください)  
【必須入力】

1  
はい

2  
いいえ



ここで改ページ

以下の資料は、前問と同じ内容となります。

ここからは仮の質問です。

2010年に愛知県名古屋市中で開催された生物多様性に関する国際会議において、  
「2020年までに、劣化した生態系の15%以上を回復させる」という目標が掲げられました。

そこで、干潟を対象として、2014年から2020年までの間に、  
1978年から2010年までの約30年間に失われた干潟の面積の15%にあたる約1,400ヘクタール  
(14平方キロメートル:東京都墨田区と同じくらい)を再生する取り組みを行う ために、  
新たに「干潟再生基金」を設置して、皆さんから募金を集めることとします。  
集めたお金は、日本国内の干潟の面積を増やす目的のためだけに活用されます。

具体的に再生を行う場所は決まっているわけではありません。  
この基金には、毎年同じ金額を支払っていただくものとし、  
支払は2014年から2020年までの7年間継続するものとします。  
この支払いにより、あなたの世帯の自由に使えるお金が、  
支払った分だけ少なくなることを想定してお考えください。

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼

### 干潟の特徴

- 多様な生きものが生息する環境
- たくさんの海の幸を生み出す場所
- 海の水をきれいにする場所



### 日本国内の干潟面積の減少状況

- 1945年以降、日本全体の干潟面積の約4割が消失。
- 1978年以降も9,000ヘクタール(90k㎡)以上の干潟が消失

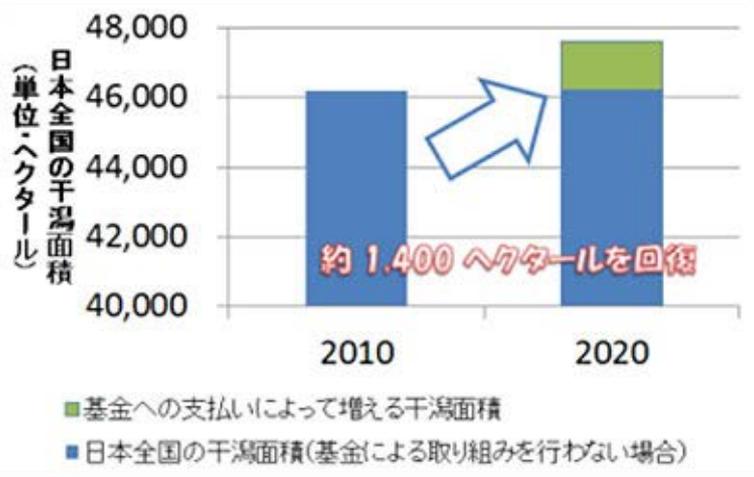
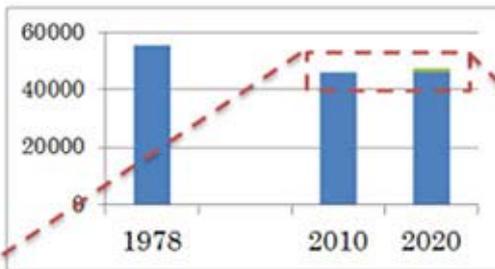


2010年に名古屋で開催された国際会議(生物多様性条約第10回締約国会議)で、**失われた自然(生態系)の15%を回復させることが世界の目標**となりました

そこで、1978年から2010年までに失われた干潟の約15%にあたる、**日本国内の干潟・約1,400ヘクタール(14k㎡:東京都墨田区と同じくらい)を、2014年から2020年までの7年間で回復させる取り組みを実施すると仮定します。**



東京都全体図



具体的には、使われなくなった干拓地を干潟に戻す取り組みなどを行います。

※再生を行う場所は特に決まっています。

※2010年以降の干潟の減少はゼロとなっていると仮定してお答えください。

Q27

日本国内の干潟を7年間で約1,400ヘクタール(14平方キロメートル)再生する取り組みを行うために、仮にあなたの世帯に年間7,000円を支払っていただく必要があるとします。あなたは、干潟を再生するために年間7,000円を支払ってもかまいませんか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1  
はい

2  
いいえ



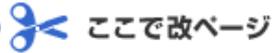
ここで改ページ

Q28

前の質問で「はい」と回答した方にお伺いします。  
年間15,000円支払うとすれば、あなたは同意しますか。(一つだけお選びください)  
【必須入力】

1  
はい

2  
いいえ



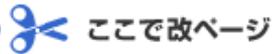
ここで改ページ

Q29

前の質問で「いいえ」と回答した方にお伺いします。  
年間3,000円支払うとすれば、あなたは同意しますか。(一つだけお選びください)  
【必須入力】

1  
はい

2  
いいえ

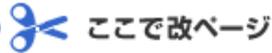


ここで改ページ

Q30

ここまでで、支払っても構わない金額として一度でも「はい」とお答えになった方にお伺いします。  
その理由として、一番大きな理由はなんですか。1つをお選びください。(一つだけお選びください)  
【必須入力】

1. 干潟を守ることで生物多様性を保全したいから
2. 干潟を今後も利用していきたいから
3. アサリやハマグリなど、干潟で取れる食べ物が好きだから
4. 釣りや漁業のために、魚を育む場所を守りたいと思うから
5. きれいな海を守りたいから
6. 干潟を守ることに限らず、世の中の役に立つことにお金を支払うのはよいことだと思うから
7. その他



ここで改ページ

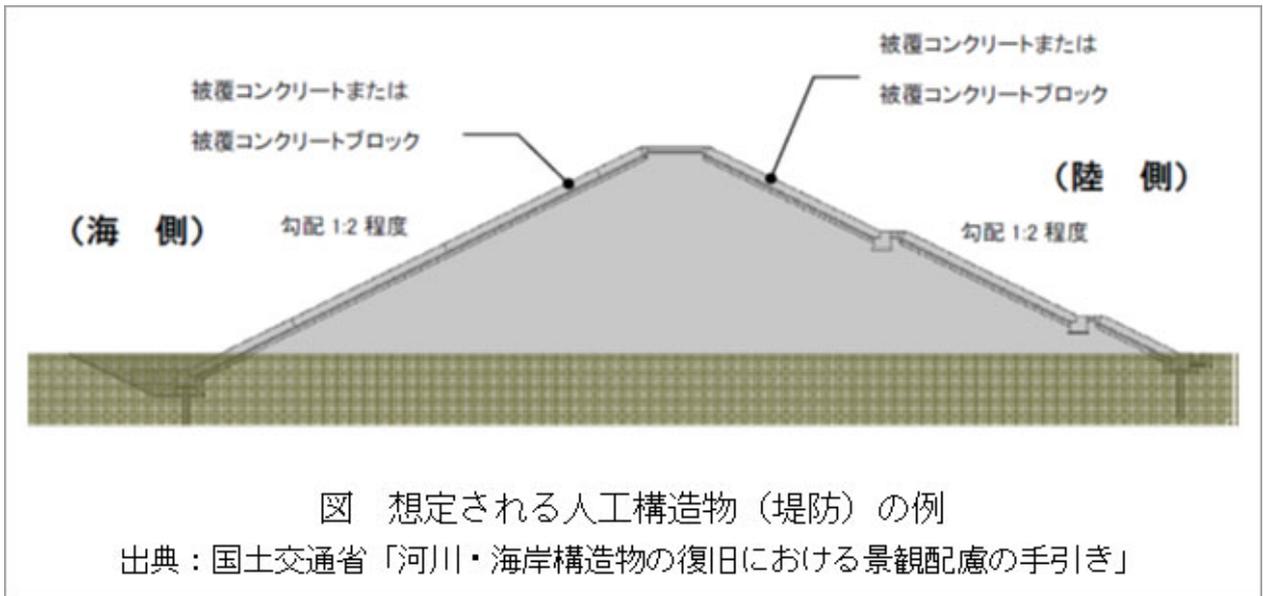
Q31

ここまでで支払ってもよい金額として2回とも「いいえ」とお答えになった方にお伺いします。  
その理由はなんですか。1つをお選びください。(一つだけお選びください)  
【必須入力】

1. 干潟を守る必要はあると思うが、この金額を出すほどではないから
2. 干潟を訪れることはないと思うから
3. 干潟の自然を守る必要はないと思うから
4. 基金でお金を集めることに反対だから
5. その他

次に防災のための取り組みについてお伺いします。

▼ 以下の画像をご覧ください。▼



Q32

2011年3月に発生した東日本大震災以降、防災対策として海岸に堤防などの人工構造物の建設が全国各地で計画されています。建設された場合には、海岸にある干潟などの自然が失われることが懸念されています。あなたは、海岸に堤防などの人工構造物を建設することによる防災対策についてどう考えますか。あなたのお考えに近いものをお選び下さい。（一つだけお選びください）

【必須入力】

1. 防災対策を最優先させ、自然環境への配慮は必要ない
2. 必要な防災対策を行った上で、可能な範囲で自然環境の保全にも配慮すべき
3. 自然環境の保全に配慮し、防災対策は最小限に留めるべき
4. 現在の自然環境を保全することが必要で、防災対策は全く必要ない
5. わからない

次にあなた自身についてお伺いします。

Q33

あなたと同居しているご家族はあなたも含めて何人ですか。（一つだけお選びください）

【必須入力】

1. 1人（同居している家族はいない）
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人
6. 6人
7. それ以上      人（半角数字）

Q34

あなたのご職業を教えてください。（一つだけお選びください）

【必須入力】

1. 会社員
2. 公務員
3. 農林漁業
4. 自営業
5. 団体職員
6. 専門学校生・大学生・大学院生
7. 学生(高校生以下)
8. パート、アルバイト、フリーター
9. 年金生活者
10. 主夫・主婦
11. 無職
12. その他



ここで改ページ

Q35

あなたの世帯の年収は、税込みでだいたいどれくらいですか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1. 200万円未満
2. 200万円以上 400万円未満
3. 400万円以上 600万円未満
4. 600万円以上 800万円未満
5. 800万円以上 1,000万円未満
6. 1,000万円以上 1,200万円未満
7. 1,200万円以上 1,500万円未満
8. 1,500万円以上

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。  
回答もれがないか確認し、よろしければ「送信」ボタンをクリックしてください。